

# 韓国ソフトパワーの源泉を探る

今、日本のエンターテインメント業界では、KARA、少女時代等のK-POPと言われる韓国の大衆音楽の勢いが凄い。さらには人気を博した「冬のソナタ」をはじめとしたドラマや映画の領域においても人々を魅了し続けている。音楽や映画等のコンテンツ分野における韓国の力強さは、韓流ブームとして日本、アジアに止まらず世界に響き渡り始めている。このような力は、ハーバード大学のジョセフ・ナイ教授が提唱した「ソフトパワー」と言われる。つまり、国の軍事力や経済力のようなハードな力ではなく、国の有する文化力等によって、国際社会からの信頼を勝ち取るものである。このソフトパワーは、国のイメージを高め、コンテンツ分野を超えて、他の業界のグローバルな活動にも良い影響を与えてくる。

この韓国ソフトパワーの源泉はどこにあるのか？ これを探り出し、閉塞感が漂う日本を変革する上で何か参考にすべきところがあるか、という問題意識を強く持っていた。このソフトパワーをテーマに、二月十九日にソウルで「AIBS（アジア・国際経営戦略）学会」韓国支部のアジアエグゼクティブセミナーを開催した。知人の



元韓国大統領府行政官の林守澤氏の基調講演では、韓流形成の原因として、一九八〇年代以降に演劇、映画、歌謡等の分野の人材育成を理論面と実務面から積極的に行ってきたこと、さらにITネットワークを上手く使ってグローバル展開してきたことを挙げられていた。考え方の根底には、官民一体となつて、この分野の力をつけるとの意気込みが見えた。そして、持続的に発展させるには、より高度なマーケティング戦略、ビジネスプロセスの見直しが必要との危機感も持ち合わせている。

セミナーでは、BEAST等の人気グループが所属しているCUBEエンターテインメントの社長である洪丞成氏の特別講演も拝聴した。グローバル展開の成功要因は、周到なる「準備」であると力説されていた。つまり、進出先の国の文化や言語等の徹底的な調査を踏まえ、アーティストの発掘から（振付師も世界でトップクラスの人を数名入れて）トレーニングに七年ほどかけて、完成品として市場に出していくという方式を取っている。

韓国の人口の少なさ故に、韓国企業は最初からグローバルな市場を見て商品の提供を考えざるを得ない。これを後押しするソフトパワーの強化に国と企業のトップに「緊迫感」が漲っている。この緊迫感こそパワーの源であろう。コンテンツ分野だけでなく、他の業界においても、トップの発想や人材育成の面等で、グローバル展開に苦しむ日本は学ぶべき点が多い。

## ✿ 研究所だより ✿

・四月一日付でアジア研究所所長が、野副伸一教授から石川幸一教授に変わりました。引き続き研究所の活動への支援をよろしくお願いいたします。

・二〇一二年は政治の年と言われています。今年の公開講座はアジアを中心に主要国の政治指導者の交代をテーマにします。皆様の熱心なご参加をお待ちしております。

### アジア研究所 第三十二回公開講座について（ご案内）

今年度は「アジア・政治の季節 どう政治は変わるか」をテーマに開催いたします。

1. 期 日 平成二十四年六月二日～六月三〇日  
毎週土曜日 午後一時～三時四十五分

2. 会場 亜細亜大学 2号館 200教室

### 3. 内容

第一週 六月二日 野副伸一（亜細亜大学アジア研究所教授）  
「ダブル選挙で過熱する韓国―揺れる大韓民国体制―」

第二週 六月九日 永綱憲悟（亜細亜大学国際関係学部学部長）  
「ブーチン大統領の再登場  
―ロシアの大統領変動とアジア志向論―」

第三週 六月十六日 滝井光夫（桜美林大学教授）  
「米大統領選挙の行方アジア」

第四週 六月二十三日 阿部純一（財団法人霞山会理事）  
「習近平政権の課題」

第五週 六月三十日 鈴置高史（日本経済新聞編集委員）  
「米中新冷戦下と朝鮮半島  
―韓国は海洋勢力側に留まるか―」

4. 定員 三〇〇名（定員になり次第締め切らせていただきます）

5. 受講料 三、〇〇〇円（全五回一括。郵便振替でお申し込み下さい）

\*振り込み口座 亜細亜大学アジア研究所  
00100-6159772

\*郵便局備え付けの振り込み用紙をご利用いただけます。

\*初めての講座日に郵便振り込み時の「受領証」をご持参ください。「受講証」とお引き換えいたします。

\*駐車場がございませんので、電車・バスをご利用ください。

\*亜細亜大学学生・教職員は無料です。

\*問い合わせ先 亜細亜大学 総合企画部学務課  
電話：0422-69-0170  
E-mail: gaku@asia-u.ac.jp